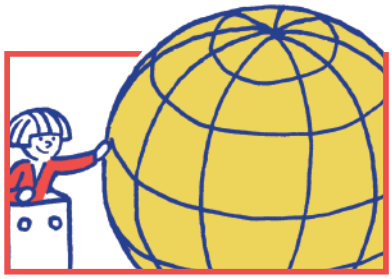
KYOTO SEIKA UNIVERSITY
FACULTY OF MEDIA CREATION

2050年からのまなざしで
世界を捉える構想力を。

京都精華大学
メディア表現学部

メディア表現学科



2021年
4月新設

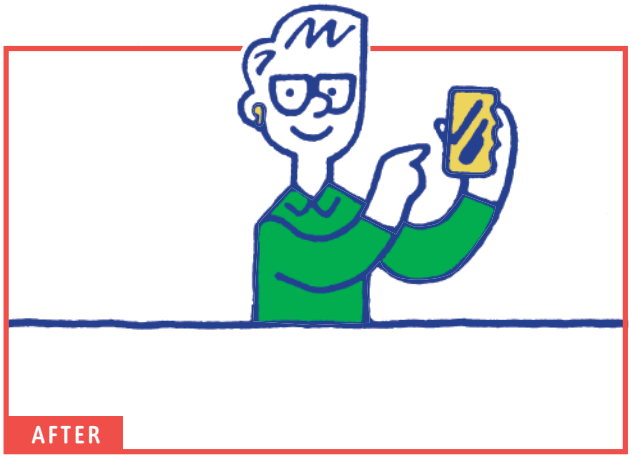
※設置構想中。
内容は予定であり、変更になる可能性があります

あなたの将来の仕事は、今はまだないものかもしれません。

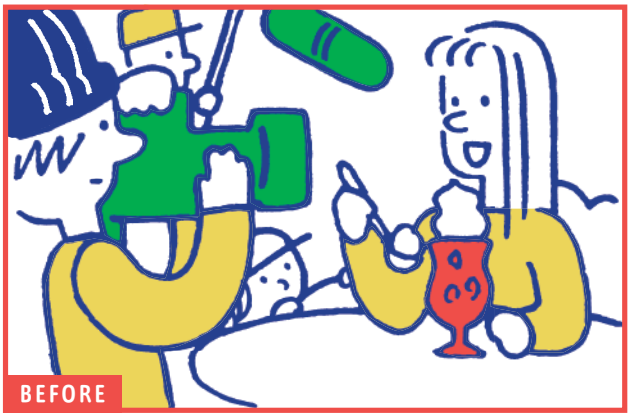
変化の激しい今の世の中。みなさんの将来もまた、どこへ向かうのかは
まったくの未知数です。YouTuber、プロジェクションマッピングのクリエイター、
ドローンパイロットといった最近の人気職業は、10年前にはほとんど存在していませんでした。
また、例えばウェブデザイナーやUIデザイナーのように、
新しく生まれた分野によって元々の職業が枝分かれしていっています。
「今ある職業だけがみなさんの選択肢ではない」
そう思うと、途方もないことのように感じるかもしれませんが、
同時になんだかワクワクしてきませんか？

テクノロジーの進歩は、生活に急速な変化をもたらしました。

21世紀における世の中の変化のスピードは、20世紀とは比較にならないほど速くなっています。
今の私たちの当たり前は、ついこの間までは想像の中の“未来の出来事”でした。



ここ10年ちょっとで起きた変化 —— ①スマホ1つでなんでもできる



ここ10年ちょっとで起きた変化 —— ②誰でも気軽に表現・発信

社会課題をビジネスで解決する動きも加速しています。

みなさんの生活とともに、世の中も大きな変化の時を迎えています。環境、貧困、ジェンダーを始めとする社会の課題へ積極的にアプローチする企業や団体が増えてきました。これは、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs（エス・ディー・ジーズ：持続可能な開発目標／2030年に向けた具体的な行動指針）」に代表されるように、未来に向けてよりよい社会・世界を目指すモチベーションの高まりが背景となっています。ほかにも、社会によいインパクトをもたらす活動や製品・サービスなどを指した“ソーシャルグッド”という言葉もあります。社会課題にビジネスからアプローチするのは、今や当たり前のことになりつつあるのです。

◉メディア表現学部のアプローチ

新しい時代の仕事は、どうしたら見つかるでしょうか？

少し先の不確かな未来について想像することは、みなさんにとっても社会にとっても大切です。
しかし、想像の軸足を“今”に置いていると、未来は未知のまま。
思い切って自分の頭の中ごと2050年の“未来”へ行き、起こっているであろうことを思い描いてみましょう。
そして2050年の未来に軸足を置き、2020年の今、何ができるかを考えてみましょう。
この“2050年からのまなざし”こそ、わたしたちは大切だと考えています。

イメージしてみよう！
2050年の世界

京都精華大学は、2050年の未来から
今を見つめる“活動”を重視した新学部を作りました。
それが、メディア表現学部です。

プロジェクト遂行に必須の技術・表現・コミュニケーションを複合的に学びます。

3つの専攻　1年次の基礎の学びを経て、2年次で専攻選択を行います

メディア情報専攻

自分の興味・関心を社会課題の解決につなげ、プログラミングの技術を応用して実際に展開する力を身につけます。人工知能（AI）やIoT、ネットワークセキュリティなど、これから必要とされる技術を活用し、チームで協働する方法も実践的に学びます。

イメージ表現専攻

“視覚”を中心とした研究やコンテンツ制作に取り組みます。VRやAR、動画制作や空間演出など多様な技術をもとに、コンサート制作／イベント制作／空間演出／映像制作などを通して、課題を発見する力、アイデアを生み出す力をみがきながら、社会に発信していきます。

音楽表現専攻

“音“を情報として捉え、音楽の表現力を広げることで“聴覚”を中心とした研究やコンテンツ制作に取り組みます。多様な音楽・音響制作に関する専門的な技法と、情報テクノロジーを活用した伝達手段の知識を深め、音楽や音の新しい可能性を追究します。

メディア表現学部で身につく力　2つの力で、社会に新しい価値を提案できる人を育てます

1 メディア設計力

最新テクノロジーを活用し、コンテンツ（中身）とメディア（器）両方を作り出せる

制作を仕組みから知ることを重視し、1年次ではプログラミングが必修科目のほか、各種ソフトウェアを用いた制作を学びます。さらに2年次の専攻選択では、より深めたい制作分野の技術を習得し、表現目的から手段につなげる力や企画設計力を養います。

2 社会接続力

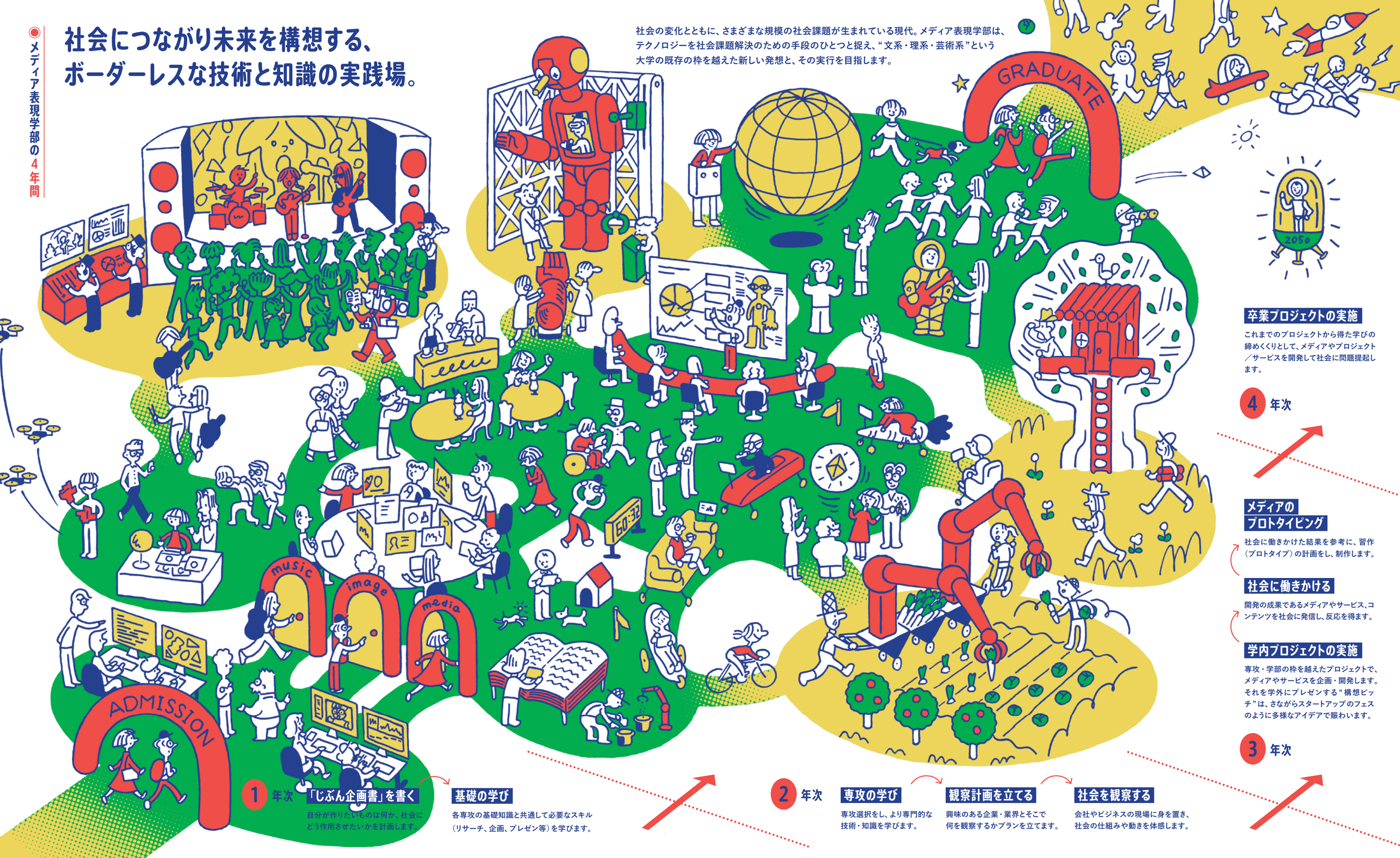
社会課題を捉え、人々を巻き込むプロジェクトを計画・推進できる

社会観察やプロジェクト実施など、大学と社会両方に接点を持つことで課題を捉え、発信する力を養います。マネジメントやプレゼンテーションなどプロジェクト運営に必要なスキルを身につけ、さまざまな役割のメンバーと関わりながら実行していきます。

◉メディア表現学部の4年間

社会につながり未来を構想する、ボーダーレスな技術と知識の実践場。

社会の変化とともに、さまざまな規模の社会課題が生まれている現代。メディア表現学部は、テクノロジーを社会課題解決のための手段のひとつと捉え、“文系・理系・芸術系”という大学の既存の枠を越えた新しい発想と、その実行を目指します。



1 年次 「じぶん企画書」を書く

自分が作りたいものは何か、社会にどう作用させたいかを計画します。

基礎の学び

各専攻の基礎知識と共通して必要なスキル（リサーチ、企画、プレゼン等）を学びます。

2 年次

専攻の学び

専攻選択をし、より専門的な技術・知識を学びます。

観察計画を立てる

興味のある企業・業界とそこで何を観察するかプランを立てます。

社会を観察する

会社やビジネスの現場に身を置き、社会の仕組みや動きを体感します。

3 年次

メディアのプロトタイピング

社会に働きかけた結果を参考に、習作（プロトタイプ）の計画をし、制作します。

社会に働きかける

開発の成果であるメディアやサービス、コンテンツを社会に発信し、反応を得ます。

学内プロジェクトの実施

専攻・学部の枠を越えたプロジェクトで、メディアやサービスを企画・開発します。それを学外にプレゼンする“構想ピッチ”は、さながらスタートアップのフェスのように多様なアイデアで賑わいます。

4 年次

卒業プロジェクトの実施

これまでのプロジェクトから得た学びの締めくくりとして、メディアやプロジェクト／サービスを開発して社会に問題提起します。

メディア表現学部の特色　独自のカリキュラムで学びを実践

プログラミング必修で基礎を固める

1年次は最新テクノロジー活用の基本として、さまざまなツールの使い方を知っていきます。中でもプログラミングは必修科目。ゲームやビジネスアプリケーション等にも用いられるPython（パイソン）などのコンピューター言語で実際にものづくりをし、制作を仕組みから知っていきます。

社会と関わり、社会を試す

企業やコミュニティに積極的に関わり、社会をじっくり見つめて課題を発見するプログラムを“社会参与”と呼びます。また、社会参与で得られた課題の解決策を社会に投げかける“社会実践”も行います。ここでの成功も失敗も、あなたの大事な経験になるでしょう。教員も全力でアシストします。

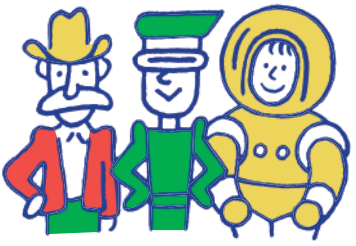
社会と大学を短期間で行き来する“クオーター制”

メディア表現学部では、1年を3ヶ月ごとに区切ったクオーター制を採用。プロジェクトを主体に、学内での講義・ゼミと、学外での社会参与を通してPlan（計画）→Do（実行）→See（振り返り）を行っていきます。このサイクルを短期間で繰り返すごとに、みなさんの活動が着々とブラッシュアップされていくのです。

卒制でも卒論でもない“卒業プロジェクト”

PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）は、メディア表現学部での学びを表す重要なキーワードです。個人の作りたいものを作るのがゴールではなく、さまざまな役割の人と関わってチームを作り、プロジェクトを推進する“活動”としての学びを支援します。こうした4年間の活動の集大成として行われるのが“卒業プロジェクト”なのです。

どんな仕事も働き方も、挑戦できる、作り出せる



学びを深めるごとに、やりたいことはどんどん具体的になっていくでしょう。エンジニア、デザイナー、作家などの職業に就いたり、あるいは新しいメディアやサービスを作ったり、起業やNPOなどの団体を立ち上げることも可能です。もちろん、今はない職業を生み出しても。あなたの4年間が、未来に役立つおもしろい仕事への挑戦の糧になります。

取得できる資格

- 高等学校教諭　一種免許状（情報）
- 図書館司書
- 博物館学芸員

※申請予定　※文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

学費

2021年度（予定額）

授業料（年間）

1,186,000円

※記載の内容はメディア表現学部のものです。
授業料は学部によって異なります。
※授業料は年4回（1回あたり296,500円）に分けて納入します。

入学金

200,000円（諸費 50,000円）

※初年度納入金には別途諸費がかかります。

入試日程

※内容に変更が生じる場合がございます。詳細はウェブサイトをご確認ください。
https://www.kyoto-seika.ac.jp/admissions/exam/

試験種別	試験日	試験科目
総合型選抜 1期 A日程	2020年 9月13日（日）	体験授業
総合型選抜 1期 B日程	9月15日（火）	体験授業
総合型選抜 2期	12月13日（日）	グループ面接
学校推薦型選抜（公募制）A日程	11月14日（土）	調査書＋面接
学校推薦型選抜（公募制）B日程	11月15日（日）	学力試験（英国数から2科目選択）＋小論文
一般選抜 1期 A日程	2021年 2月 2日（火）	面接
一般選抜 1期 B日程	2月 3日（水）	学力試験（英国数から2科目選択）
一般選抜 1期 C日程	2月 4日（木）	学力試験（英国数日B世Bから2科目選択）
一般選抜 2期	2月24日（水）	学力試験（英国数から2科目選択）
一般選抜 3期	3月12日（金）	面接
大学入学共通テスト利用入試	本学独自の試験は課さずに、大学入学共通テスト試験の結果のみで合否判定を行います。（旧・センター試験利用入試）	

アクセス

京都精華大学
KYOTO SEIKA UNIVERSITY

メディア表現学部／国際文化学部／
芸術学部／デザイン学部／マンガ学部

〒606-8588
京都市左京区岩倉木野町137
TEL: 075-702-5197
MAIL: shingaku@kyoto-seika.ac.jp

@seika_sekai
@KyotoSeikaUniversity
@kyotoseika

https://www.kyoto-seika.ac.jp/

京都市営地下鉄 国際会館駅から スクールバスで約10分
叡山電車 京都精華大前駅から 徒歩すぐ

◉JR「京都」駅から約30分
市営地下鉄 国際会館駅まで約20分 ⇒ スクールバスにて約10分

◉阪急電車「烏丸」駅から約30分
阪急 烏丸駅にて市営地下鉄に乗り換え、国際会館駅まで約16分
⇒ スクールバスにて約10分

◉京阪電車「出町柳」駅から約20分
京阪 出町柳駅にて叡山電車に乗り換え、京都精華大前駅まで約18分
（駅から徒歩すぐ）

Write & Edit: Tsuchiya Ryoko Design: STUDIO PT. Illustration: fancomi